

# 景況調査

(平成31年4月～令和元年6月期)

平成31年4月～令和元年6月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成31年4月～6月期の調査結果では、業況、売上高、採算、資金繰りの4指標の数値が全て低下した。

## 〈業況〉

業況DIは▲21.4で前回調査の▲7.0から14.4ポイント低下した。業種別では、小売業▲40.0(前回調査比▲21.2)、製造業▲27.3(前回調査比▲9.1)、建設業▲30.0(前回調査比±0.0)、サービス業▲13.3(前回調査比▲25.8)、卸売業▲40.0(前回調査比▲10.0)と建設業を除く4業種で低下した。

7月～9月期見通しは全体で▲24.1であり、数値は低下し

## 〈売上高〉

ている。

売上高DIは▲21.1で前回調査の0.0から21.1ポイント低下した。業種別では、小売業▲40.0(前回調査比▲21.2)、製造業▲9.1(前回調査比▲9.1)、建設業▲60.0(前回調査比▲30.0)、サービス業▲6.3(前回調査比▲25.1)、卸売業▲40.0(前回調査比▲35.0)であり、全ての業種が低下した。

7月～9月期見通しは全体で▲19.3となっており、わずかに上昇が見込まれている。

## 〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲21.1で前回調査の▲12.3より8.8ポイント低下した。業種別では、小売業▲33.3(前回調査比▲20.8)、製造業▲36.4(前回調査

比▲9.1)、建設業▲30.0(前回調査比±0.0)、サービス業▲6.3(前回調査比▲6.3)、卸売業▲20.0(前回調査比▲5.0)で建設業を除いて低下した。

7月～9月期見通しは全体で▲21.1であり横ばいの見通しである。

## 〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲3.7で前回調査の1.8から5.5ポイント低下した。業種別では小売業▲6.7(前回調査比+5.8)、製造業0.0(前回調査比±0.0)、建設業0.0(前回調査比▲10.0)、サービス業0.0(前回調査比▲6.7)、卸売業▲20.0(前回調査比▲45.0)であった。

7月～9月期見通しは全体で▲10.0であり、今回調査実績から低下している。

## 〈その他の意見〉

米中経済摩擦による影響が開始しており、拡大、長期化が懸念される

